



アンバランスな 中国文理解

二階堂 善弘

いま中国の経済は大きく発展し、世界的にも重要な位置を占めつつある。そのためか、文化面においても中国と向き合う場面が多くなってきた。

他の遠い国はともかく、距離的に近かった日本と中国の交流の歴史は長い。遣唐使の時代、いやそれ以前から、宗教や文学などを通じた交流が盛んであった。いま我々が使っている「漢字」も「著」も中国から伝わってきたものであるし、「猫」だってそうだ（猫は日本にはいなかった）。『論語』は日本人にとっても重要な古典だし、白楽天の詩が日本の文学に与えた影響は巨大なものがある。儒教や仏教を抜きにしては、日本文化自体が語れないであろう。『西遊記』の孫悟空や、『三国志』の英雄たちも、いまや多くの日本人になじみのある存在である。

だから、我々日本人は中国の、特に古典文化については共有している、我々はよく中国を知っている、そう思いがちである。しかし、意外に中国文化の理解については、大きなアンバランスが存在するのである。

例えば、中国を代表する京劇を見たとする。「空城計（くうじょうけい）」は諸葛孔明が大活躍する劇で、これは日本人にもわかりやすいものだ。しかし例えば、「四郎探母（しろうたんぼ）」を見てみよう。これは「楊家将（ようかしょうじょう）」の物語だ。むろん中国人の人なら、「楊家将」がどんな物語がよく知っている。でも日本の場合、下手をすると研究者でもよくわからないだろう。しかし京劇には、「楊家将」に関連するものがやたらと多い。

『西遊記』も、日本ではマンガやドラマになるほどの人気である。でも中国には同じくらい有名な「封神演義（ほうしんえんぎ）」がある。最近ではこれも日本でちょっとは知られてきたが、ついでの間までは誰も知らなかった。「隋唐もの」の秦叔宝（しんしゅくほう）（や程咬金（ていこうきん））や、「説岳もの」の岳飛（がくひ）（といつたら、中国人の誰もが知る英雄で、「三国」の関羽や張飛みたいなものだ。でも日本では研究者もあまり知らないだろう）。

もちろん、近いとはいえ異国の文化なのだから、知らないのは当然ともいえる。でも全く知られていないならまだわかる。ところがあちらでは同じくらいの知名度があるにもかかわらず、日本では一方は異様に知られていて、一方は全く無名であったりする。実はこういったものはまだまだたくさんある。これは非常に興味深く、かつ不思議な現象である。

おそらく、日本人が中国の文化を受容するにあたって、一定の取捨選択があり、その結果こういったアンバランスが生じているのであると思われる。だがこれからは中国文化をもっとトータルな見地から理解することが必要となろう。まだまだ中国文化の教育も、いろいろ工夫する余地があるといえる。

（文学部助教授）

HEADLINE

- 2 面 体育会馬術部の馬場・厩舎が竣工
- 4・5 面 特集 進化する大学院
- 6 面 「総合学生会館」メディアパーク
- 8 面 特集 学内ボランティアグループ「COLORS」



まもなく学
年末試験が始
まる。普段が
ら裏面に勉
強に取り組ん
できた学生諸
君は、泰然と
して騒がず、
要領シート
に整理もしてあつ
いたところか。しか
し、そでない学生諸君
は、ささしあててふた
めいているだろうか。
特に、卒業のかがつて
いる四年次生以上の者
には、悲壮感を漂って
いる。それゆえに、この科
目を落とすと、卒業でき
ません。就職も決まっ
ているので、お願いしま
す。助けて下さいとい
った類の答案を、毎年必
ず目にするようになる
薬をもつかみかたなる心
情は理解できなくもな
い。しかし、努力もせず
に、この種の陳情だけ
で、単位を取得できるな
どとは露も考えないほう
が良い。そもそも、吉田
松陰が「講義余話」の中
で、「凡そ学をなすの要
は、己が為にするにあ
り」と述べているよう
に、学問は自らのため
に、自らを鍛錬し、向上せ
せるためにするものだ。陳
情で単位を得ても何もう
上しない、と嗚咽を切る
くらいは気構えが欲しい。
そうすれば、結果も
ついてくるはずである。

（中野 徹也）

体育会馬術部の 馬場・厩舎が竣工



本学の課外活動振興に伴う環境整備の一環として移転、新設された体育会馬術部の馬場・厩舎の竣工式が、昨年十一月二十五日(木)に挙行され、森本靖一理事長、河野義一学長をはじめ、大学および工事関係者のほか、来賓を含め四十五人が出席し、その完成を祝った。

これまでの馬場は狭隘で変形不規則な条件であった。競技の運営や練習の上で十分とはいえず、厩舎においては経年劣化が進行しており、これらを解消するため、千里山キャンパスから高槻キャンパスに移転した。

馬場は六十四方の規模を有し、砂塵対策用の散水設備を設置するとともに、馬の逸走を防止するための安全対策として周囲にスチール製柵を設けるなど、各種競技にも対応可能な施設となった。また、厩舎には馬房のほか、馬具庫、飼料庫、馬の洗いや馬車を設置している。

これらの施設の周辺には、多くの植栽を行うことで、総合情報学部、大学院総合情報学研究所の教育研究環境に影響を及ぼさないように万全の対策が施されている。

各種競技にも対応可能

秀麗寮で入寮者を募集

平成 17 年度は女子が対象

学生部では、平成十七年度において秀麗寮の入寮者を募集することになった。例年であれば、秀麗寮とともに、北斗寮も入寮者を募集していたが、次年度は北斗寮が改修工事にあたる(一年度からは女子寮になる)ため、今回は秀麗寮のみとなっている。また、今回は、二年次および三年次生の女子学生を対象としている。

返還義務のない 財団給付奨学金について

本学にはさまざまな奨学金制度があるが、今回は返還義務のない財団給付奨学金について周知する。財団給付奨学金とは企業や篤志家からの基金などに、より運営されている奨学金

入寮希望者は、平成十七年度において秀麗寮の入寮者を募集することになった。例年であれば、秀麗寮とともに、北斗寮も入寮者を募集していたが、次年度は北斗寮が改修工事にあたる(一年度からは女子寮になる)ため、今回は秀麗寮のみとなっている。また、今回は、二年次および三年次生の女子学生を対象としている。

本学にはさまざまな奨学金制度があるが、今回は返還義務のない財団給付奨学金について周知する。財団給付奨学金とは企業や篤志家からの基金などに、より運営されている奨学金

本学にはさまざまな奨学金制度があるが、今回は返還義務のない財団給付奨学金について周知する。財団給付奨学金とは企業や篤志家からの基金などに、より運営されている奨学金

秋季人権啓発行事



秋季人権啓発行事が昨年十一月十五日(月)、十六日(火)の両日、高槻、千里山の両キャンパスで開催されました。今年度は平成六年六月に起きた松本サリン事件の被害者でありながら、マスコミなどから容疑者であるかのような扱いを受け、現在はその経験から報道被害者の救済に精力的に取り組んでいる河野義行氏をお招きしました。題して「報道と人権」松本サリン事件における報道被害」。

河野さんの講演が始まる前は、松本サリン事件からすでに十年が過ぎており、当時小学生であった学生諸君、扱いされていたの

君がどれだけ覚えているだろうか、聴衆が教職員一般の人はかりではないだろうかと思念材料がないわけではありませんでした。しかし、いざ始まってみると、広い会場の中は学生諸君、君はほいほいになり、講演中の私語もく熱心に

メモを取る姿に、それまで抱いていた不安が驚きとともに安堵に変わっていくのを覚えました。

河野さんは、事件当日の経過、家族のおかれた状況から始まり、このように事実がゆがめられ、「被害者」でありながら、「被疑者」扱いされていたの

松本サリン事件の報道被害について

河野さんは、現在長野県公安委員として、また犯罪被害者支援のための NPO の理事として活躍されています。河野さんの経験や置かれた立場から、その仕事はまさにふさわしいものだと思います。河野さん、ありがとうございます。河野さん、ありがとうございます。河野さん、ありがとうございます。

主な財団給付奨学金(日本学生支援機構、関西大学奨学金、学部給付奨学金との併用も可能です)		給付金額(返還義務なし)
関西大学独自の奨学金 (関西大学 冠 奨学金)	赤井奨学金	年額 240,000 円
	柳瀬奨学金	
	久井奨学金	
企業・団体からの奨学金	野田奨学金	月額 50,000 円 月額 35,000 円(自宅) 月額 45,000 円(自宅外)
	(財)竹中育英会	
	(財)日本証券奨学財団	
	(財)三菱信託山室記念奨学財団	月額 30,000 円

上記の奨学金は 2004 年度入学生が対象です。

退職記念最終講義のお知らせ

3 月をもって定年退職する先生の退職記念最終講義が、下表のとおり予定されていますので、ふるって聴講してください。

学部	氏名	月・日・時間	場所	テーマ
法	村井 正	1月13日(木) 第2時限	第1学舎2号館 B102教室	「Mobility と租税法」
文	藤原 真澄	3月12日(土) 第3時限	第1学舎1号館第3会議室	「中国史通論」
社会	石川 啓	1月11日(火) 第2時限	尚文館1階マルチメディア AV 大教室	「心理学と私 - ロールシャッハ・テストからストレス尺度(LES) まで」
	植藤 則夫	1月11日(火) 第2時限	第3学舎4号館1階 ソフト AV 大ホール	「広告は時代はどう応えてきたか その芸術性と社会性」
	岡田 至雄	1月13日(木) 第3時限	第3学舎1号館 301教室	「余暇社会への道筋」
	佐々木士郎二	1月11日(火) 第2時限	同上	「消費者行動と旅行者行動 心理学の新領域に取り組んで」
工	今西 茂	1月11日(火) 第1時限	第4学舎208号室	「授業終了を迎えて」
	戸倉 清一	2月28日(月) 14:00-17:00	尚文館1階マルチメディア AV 大教室	「関西大学での7年間」
	西田 一彦	2月26日(土) 第3時限	同上	「地盤系土木遺産の保存と活用」
	林 重雄	1月11日(火) 第4時限	第4学舎101教室	「電力システム技術の50年」

*会場はいずれも千里山キャンパス

注意

校友名簿閲覧における

就職活動において、先輩を訪問して仕事の内容やその会社の雰囲気などを直接知ることが非常に有効なことといえます。しかし、先輩との連絡を取る際には十分注意を要する場合があります。校友名簿を閲覧し、校友と連絡を取った結果、個人情報管理が厳しく、本年四月から個人情報保護法が全面施行される社会状況が、このことをよく理解してください。

そこで、本学では、学生のみならず、就職活動が視察覚悟で主権英語特別

大学 トリックス

第一回関西大学現代 G P シンポジウム、E T を活用した教育の質の向上

一月十九日(土) 三時三十分から尚文館で「現代 G P シンポジウム」を開催しました。これは、文部科学省「現代の教育」を推進するための教育 IT 推進事業の一環として、本学が主催するものであります。当日は、文部科学省「現代の教育」を推進するための教育 IT 推進事業の一環として、本学が主催するものであります。当日は、文部科学省「現代の教育」を推進するための教育 IT 推進事業の一環として、本学が主催するものであります。

内閣府 総務省 文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会 日本学術会議 主催により「報告書」

(第四回) が十二月十三日東京プリンスホテルで開催されました。これは、産学官連携を強化し、推進するため、産業界、大学、研究機関、地方自治体等のトップが一堂に会し、対話・交流し、相互理解を促進し、具体的な政策への提言を実施し、我が国経済の活性化、および科学技術創造立国の実現に資することを目的としている。

研究プロジェクトの設置

関西大学研究プロジェクト

研究プロジェクトの設置

研究プロジェクトの設置

120th

創立120周年

いよいよ来年

募金推進、高まる気運

式典や行事は簡素・厳粛に

創立百二十周年をいよいよ来年に控え、本年は、引き続き募金活動を推進する一方、記念式典や記念行事の具体づくりを今年とする。記念式典や記念行事については、記念事業実行委員会の下に設置された六つの専門委員会において、昨年からの検討が始まっている。

現在のとおり、記念式典は、簡素にして厳粛に行う予定である。記念行事は、講演会をはじめ多彩な企画が候補に挙がっている。そのほか、関西大学百二十年の歴史や写真集、百二十年の歴史の刊行、地域社会への記念植樹なども予定されている。本学の百二十年の歴史にふさわしく、本学らしさを生かすことも、従来のものとは異なる新たな記念式典・記念行事であるよう、検討が進められている。

さらに、千里山キャンパス

現在のところ、記念式典は、簡素にして厳粛に行う予定である。記念行事は、講演会をはじめ多彩な企画が候補に挙がっている。そのほか、関西大学百二十年の歴史や写真集、百二十年の歴史の刊行、地域社会への記念植樹なども予定されている。本学の百二十年の歴史にふさわしく、本学らしさを生かすことも、従来のものとは異なる新たな記念式典・記念行事であるよう、検討が進められている。

学生ボランティア 団助成事業に選定

「あかとんぼ」 サークル 「あかとんぼ」

このたび、財団法人学生と行動力によって社会貢献を實踐している学生団体を、平成十六年度学生ボランティア団助成事業に選定された。このたびは、千里山キャンパスのサークル「あかとんぼ」が、団助成事業に選定された。このたびは、千里山キャンパスのサークル「あかとんぼ」が、団助成事業に選定された。



高槻の風

馬場と厩舎が完成

昨年十一月二十五日、高槻キャンパスにて、体育会馬術部の馬場・厩舎竣工式が行われた。課外活動振興に伴う環境整備の一環として、馬術部が千里山キャンパスから移転してきたのである。

千里山で活動していた時、大学のキャンパスに馬がいない、という珍しさから一つの名物になっていた。今回の移転で、学生やキャンパスを散歩させている

近隣の住民、幼稚園児からは「救い」との声が多々寄せられたようだった。

移転を知った馬術部のメンバーは、千里山に在籍する部員は、授業は千里山で、クラブは高槻という活動形態になる。毎日全員が顔を合わせる機会が多くなり、交流が深まると期待されている。

新刊の扉

文学部教授 浜本隆志著
「謎解き アサセリィが消えた日本史」
(平成十六年十月十四日 清文堂出版 定価一万二千六百円(税込))

受賞

土木学会第五十九回年会 学術講演会
優秀発表者 工学部土木工学科 重行 牧 祥司、高橋 M2 稲葉 真一、田中知樹、藤井 健次
(平成十六年九月八日 二十七日受賞)

新編東中越地震ボランティア

昨年十月十三日に発生した新編東中越地震の被災地に本学から四人の学生がボランティアとして現地を訪れ、次のとおり報告があった。
(学生部)

眞実を見る大切さ学ぶ

昨年十月十三日に発生した新編東中越地震の被災地に本学から四人の学生がボランティアとして現地を訪れ、次のとおり報告があった。
(学生部)

学位取得

池内 晴・久保 香織 清水 美沙・山上 明男
朝治 啓三(文学部教授) 博士(文学) 京都大学
「シモン・ド・モンテール」の乱
学位取得年月日は平成十六年十月十四日。

東京での地歩固め

入試説明会開催
昨年十一月七日(日)東京センターで初の入試説明会が開かれた。参加者は父母、高校教員を含め15人。

これを多岐とみるか少ないとみるか、意見の分かれるところだが、前日6日(土)に代々木ゼミを会場に同じ説明会を開いた直後でもあり、センターまで足を運んでもらえたことに、より意味があると考えている。

本学の学生で東京出身者の数はあまり知られていないが、その少なさに驚く。現在1年から4年までで74人しかいない。ちなみに、京都のR大には2000余人もいるという。

本学の東京における知名度の低さには、東京出身の学生にも一因がある。なぜなら学生は就職にも地元



関西大学東京経済人倶楽部のみなさん
倶楽部が東京でどのような活躍をみせてくれるだろうか。現在、東京事務所を有する関係同立を含む18私大の集まりがあるが、参加者に共通するのは私学の先行きに対する危機感である。広い視野と実績を持つ経営者との協同にひとつの活路を見出しているのは、私一人ではないと思う。
(東京センター長 石山 博康)

訃報

米澤 博氏(おねざわ ひろし)名誉教授
平成十六年十一月十一日(十一月七日)七十五歳に死去。八十二歳。昭和二十一年九月京都帝国大学工学部応用物理学科卒業。昭和四十三年四月本学看任。平成五年三月定年退職。平成十年四月名譽教授。平成十年四月瑞宝章受章。専門は構造工学。
福島 浩氏(ふくしま すすむ)名誉教授
平成十六年十一月十三日(十一月四日)三十分死去。八十三歳。昭和十一年九月京都帝国大学大学院特別研究生修了。昭和三十三年十月本学看任。平成二年三月定年退職。平成四年四月名譽教授。平成七年勲三等瑞宝章受章。専門は反応工学。

Graduate school

進化する大学院

いまや大学は変貌の途上にあり、大学院も例外ではない。それも、その変貌は進化といっているもので、社会環境の変化を見据えて、大学院は形態を変えようとしている。関西大学の大学院は社会環境の変化、また、それにとまなう社会のニーズを次のように捉えている。

科学技術の進歩は生活の豊かさをもたらすとともに、社会の仕組みをいろいろな面で複雑化し高度化した。これに対応して、学部卒業生より以上の知識をもった人材養成が大学院に求められるのである。そのため大学院では、意欲ある学生諸君のために内部進学や飛び級の制度を設けたのだが、今後は学部と大学院の一貫教育や早期卒業の制度を導入しようとしている。

また、産業の高度化は、社会人のリカレント教育への需要を高めていることから、社会人のための入試制度が設けられているだけでなく、専修的なカリキュラム編成によって教科内容の充実もはかられている。こうした社会人教育の展開は一般的には、大学院での生涯教育の側面を拡充する方向にも推進力を働かせていて、大学院において市民教育や教養教育が重視されるようになってきているのである。

ここでは、専門職大学院は除外しているが、みなさんにはぜひ紙面を読んでいただき、各研究科の進化の度合いを確かめていただきたい。



副学長
(大学院・研究推進担当)
竹下 賢

法学研究科

修士号の早期取得



法学研究科長
栗田 隆

法学研究科は、学部の学生諸君が大学院で学びやすくなるために、平成17年度から成績の優れた4年次生に、大学院の授業の扉を開くことにした。現在計画されているプランに従えば、学部4年次生の身分で法学研究科の授業を10科目以内で20単位まで受講することができる。

翌年度に法学研究科に進学した場合には、その内の10単位が修得済み単位として扱われる。これと正規の大学院生となった後で修得する単位とにより、大学院に1年間在学するだけで修士号を取得することが可能となる。学部4年と大学院1年の修学期間にちなんで、4+1プランとも呼ばれている。大学院に在学する1年間で就職活動をしつつ、修士論文も書き、さらに修了所要単位(コースにより32単位または36単位)の修得が必要であるので、極めて多忙になるが、5年間で、学士号と修士号とを取得できることのメリットは大きい。この新制度が、成績の優れた多くの学生諸君の発展に役立つことを期待したい。

文学研究科

文学研究科の新しい試み



文学研究科長
浜本 隆志

文学研究科では、平成18年度からの第三者評価制度の導入に対応するために、3つの重点項目を掲げて改革に着手している。第1に魅力ある大学院づくり、第2に学生定員の充足、第3に研究者養成と並行して高度の職業人養成への重点化をめざしている。その第一歩として平成17年度から、博士課程前期課程において1専攻多専修導入の申請をし、文部科学省から認可を受けた。その結果、従来の9専攻と同じ名称をもつ9専修が

ら、さらに新しい専修を立ち上げることが容易になった。現在、平成18年度設置を目標に、美術史・芸術学専修、心理学専修、英米文化論専修(いずれも仮称)をはじめ、新しい専修を検討している。たしかにまだ議論の途上にあるが、これによってより魅力的な文学研究科づくりが可能であると考えられる。

次に学生定員の充足の具体的な対応として、平成17年度入試から、学部3年次生も受験できる飛び級入試制度を導入し、また社会人が容易に学べるように、入試方法も改善した。今年度1回だけの結果であるが、社会人入試の受験生は、昨年に比べて倍増した。これは定員充足に寄与するのみならず、高度の職業人養成の一環としても位置づけられる。

経済学研究科

5年一貫教育プログラムに向けて



経済学研究科長
黒木 貞義

本研究科では、学部と研究科を合わせて「5年一貫教育」プログラムの実現に向けて検討中である。その狙いは大学院博士課程前期(修士)課程の魅力が高めることにある。第1に、修士課程を1年繰り上げて修了することにより、学費と生涯所得の両面で「経済効果」が高まる。第2に、学部と研究科のカリキュラムを時代のニーズに合致

するよう、整合的で有機的に組み替えれば「教育効果」も高まる。そうなれば修了後、実社会での受入れも現在よりずっと広がるだろう。1年だけ年長でしかも学部卒業に比べて「修士」にふさわしい学識・能力を備えた人材を確保できるからである。そこで問題はまず、如何に時代のニーズを読み取ってカリキュラムに反映するかという点である。学部の教員を集めて結論を出さねばならないが、さしあたり現有勢力のフル活用、つまり若手教員の全面的な大学院担当と、それでも足りない分野は客員教授の招聘を予定している。

さらに、5年一貫教育への組替えも課題として残されているが、これは学部と緊密な連携をはかれば解決可能である。そのプロセスで「3年次卒業」という学生には魅力的な選択肢も、全学的な措置として「学則」を変更できれば出現する。年頭の初夢が「正夢」になるよう努力したい。

商学研究科

さらなる革新と一段の飛躍をめざす



商学研究科長
岩佐 代市

本学では平成18年度に「会計専門職大学院(アカウントینگ・スクール)」を設立する予定です。これは商学研究科会計学専攻の専門職コース(会計学プログラム)が、いわばスピンのように、独立の研究科となるもので、会計士制度の変更に併せ、専門性が高く、国際的視野にも富む公認会計士を養成するためです。それはまさしく、研究者養成に加えて高度の専門職業人を養成するための専門職コースを設置したこと(平成12年度)に次ぐ、第2の革新と言えます。

企業のみならず大学・大学院においても弛まぬイノベーションが求められる時代、商学研究科は平成18年度以降も優れた研究者の輩出と高度の専門職業人の養成を目標に、いっそう魅力的な研究科へと進化すべく新たな革新を模索しているところで(実務界との接点の拡大、職業人としてのスキル・アップ、国際的水準の論文作成に向けた取り組み、外国研究機関との交流、学部から通算5年での学位取得など)。

学生のみなさん、従来にも増して魅力的となる商学研究科に、あなたも一員として参加しませんか。そして、ビジネスのあり方を変革する革新的なアイデアと一緒に創造しようではありませんか。

社会学研究科

人間と社会を多様な視点から分析



社会学研究科長
橋本 敬造

社会学研究科は人間と社会を研究対象とし、かわり合う人間・社会の諸局面を高度、かつ多様な視点から分析し、統括する取り組みを行っている。

社会学研究科は複雑・多様化する社会、人間と相関する諸局面についての研究の頂点を極めることを目的とし、創設以来、社会学専攻、産業社

会学専攻、社会心理学専攻、マス・コミュニケーション学専攻を順次、設置して、高度な研究教育活動を行い、既存の学問領域を学際的、総合科学的にとらえ直そうとしてきた。高度な専門知識への習熟を通して、進化する研究と探求の方法を獲得、発展させることを基調に、新たな専門分野における有為の研究者を養成し、研究成果を生み出す場となることをめざしてきた。大学院生の国際学会への参加など、すでにその実績を多く見ている。

こうした設置目的と実績に加えて、複雑化する現代社会に生起する、近年の深刻な諸問題に対処しようとする社会的要請に応えて、臨床心理士(第1種大学院専攻コース)のように、関連する分野において高度な専門知識に基づいた社会的活動ができるような専門家の育成に努め、高度な知識を身につけて活躍するとともに、経験を通して知識のいっそうの深化をめざす社会層の再活性化に取り組むような機能も持たせている。産業政策や経営、科学技術の動向等に対応した知識を身につけた人材や、国際的な視野をもつジャーナリストを育成しようとするのも、本研究科の特徴である。

総合情報学研究科 情報スペシャリストの養成をめざす



総合情報学研究科長
宮下 文彬

総合情報学研究科は平成6年に開設された総合情報学部の第1期卒業生平成10年に研究者養成だけでなく、高度な専門知識を有する職業人の養成をめざして開設された。

特に、社会人の受入れのために昼夜開講制を採用し、天六キャンパスも利用して、高機能キャンパスとの間に双方遠隔授業システムを取り入れた画期的な授業体制を敷いている。平成12年には博士課程後期課程も開設し、既に8人の博士(情報学)を輩出した。前期・後期課程が充実すると共に研究施設も完備され、学術フロンティア推進事業に関連してネットワーク研究センターを平成15年に開設、ポスト・ドクトラル・フェローリサーチ・アシスタントも採用されて本格的な研究体制に入っている。

また、社会人教育についてさらに発展充実を図っていく必要から、社会人卒業生に対してのアンケート調査を行った。社会人の期待している大学院として受講者の立場からのニーズを把握して、今後の社会人教育の方向についても見定めたい。さらに、開設後7年にもなり、激動の社会に必要とされる人材輩出のために、研究科として緊急な問題や将来の充実を図るためのプロジェクトを立ち上げ改革の実行を開始している。

工学研究科 科学技術の時代の要請に応える



工学研究科長
土戸 哲明

21世紀における科学技術は既存の学問体系の基盤の上に異種領域の融合、とくに情報、バイオ、ナノテクノロジーにおいて一層進化すると予想されている。工学研究科では、このような時代の要請に応えるべく一連の改革作業を進めており、平成18年度には研究科現在の10専攻を前期課程では3専攻に、後期課程では1専攻に統合する予定である。

前期課程のこれまでの専攻は分野と呼ぶ組織が変わり、応用自然科学分野が新たに加わる。同時に、専修科目制度に代わってゼミナール・研究指導体制をとることとし、またカリキュラムに専攻共通科目を設置すること。これらの措置により、学生は所属する分野の専門知識や技術を修得するだけでなく、広い科学的素養と技術者としての社会的見識も身につけられるようになることが期待される。

当研究科ではさらに、学内の先端科学技術推進機構、海外の大学、近隣の研究機関と連携を強化し、進学を希望する学生にとって魅力的な研究科に変身を図る予定である。

外国語教育学研究科 3年目、新しい発展をめざす



「1年間を振り返ってみると、多くの“出会い”に恵まれた実り多き1年だったと思う。すばらしい先生方、切磋琢磨しあえる仲間たち、そして英語教育に関する書物との出会い、これらを通して学んだことは、教壇に再び立つときに必ず生かされると思っている」(黄瀬 旭)

「研究科の先生方とも落ち着いた、いつでも気軽に連絡がとれて、相談に乗ってもらえる。落ち着いた環境だと思える」(金恩慶)

現在、外国語教育学研究科で学んでいる、大学院生の意見を聞いてみた。私たち外国語教育学研究科は、ようやく3年目を終わろうとしているフレッシュな研究科である。21世紀のグローバル化を迎えた現在、コミュニケーションの役割は、ますます重要になってきている。幸い、教授陣も他の大学院に負けない、多彩な専門分野の方々をそろえることができた。みなさんの一人ひとりを将来性のある人材として、育てていく強い覚悟を込めて、この仲間と、ぜひ関わってほしい。

(((大学院生の声)))

学問に旬はない



文学研究科
史学専攻M2
羽生 和子

私は73歳、バリバリの現役大学院生である。学部の3年次に社会人編入して早や4年、今は修士論文に忙殺されている毎日である。

時に能狂言で息抜きをしているが、それと決めてシニアでなく「学割」を駆使して受付係を驚かせ、ストレス解消に役立っている。「開かれた大学院」のキャッチフレーズに誘われて門を叩いてみたが、さすがにそんな甘い世界ではなかった。しかし50年前の理系大学では得られなかった歴史の面白さに圧倒されたし、薬剤師としてのキャリアと中国の歴史をバックグラウンドに入学当初の複眼思考が今や立体的な道筋として見えきた。もちろんIT機器との格闘も歳相応に厳しいものがあるし、フィジカルヘルス・ケアにも手が届かない。しかしそれらを含めて開大の空気に馴染んで居心地よさという今日この頃である。担当教授からも「決して高齢者と認識していません」と極めてシビアな薫陶をいただいている。これが時には弱気になる私にとって奮起の絶好の特効薬になっている。

七つの手習い大成功!学問に旬はない! 大学院は外から眺めていても始まらない。内側から体感してこそ真価がわかる面白いエリアなのである。

専門知識を養い、発掘・資料調査の技術を学ぶ
私は考古学に興味を持ち、学部生のころから考古学研究室で勉強し、毎年大学休暇には発掘調査の

現場に参加した。これまで私が経験したのは主に近畿圏に所在する古墳の調査だが、本学の考古学研究室では、日本だけではなくインドやエジプトなどの海外の調査も行っており、多くの学生が参加している。

私は将来、博物館学芸員や文化財の専門技術職員の職に就くことを希望しているため、大学院へ進学した。学部生とは違って、大学院生は自分の専門分野における研究をしながら、発掘調査でも成果を出さなければならないため、作業行程の計画を自分たちで立てたり、現場の運営も行うようになり責任が非常に重くなった。今年は兵庫県三田市の古墳を調査しており、三田市内における古墳文化について新たな知見を得ようとしている。こうした発掘や出土遺物の整理作業・報告書の作成を通じて、モノの取扱いや保存方法などが自然に身に付くようになった。

このように、大学院では専門的な知識や技術を修得するための数多くの機会が得られるので、後はそれを生かし、自分に身に付けようという強い意志を持つことが重要だと考えている。

大学院での研究生生活



工学研究科
機械工学専攻M2
上本 卓志

研究過程での多くの実体験を通じて、実際に即した論理的な思考力を養うため、大学院に進学した。研究課題は、「人に優しい電動椅子の構築と制御」。装置の設計と製作、解析や評価と検証実験では、試行錯誤して複数解の中から最良解を求めることに非常に苦しみがある。しかし、達成後の喜びは、研究に新たな楽しさや甲斐を芽かかせる。失敗は財産で、次の発想の原動力である事に新鮮さを感じている。

研究成果の学会発表や産学の展示会での説明、技術コンペへの参加など、学外での活動にも積極的に参加している。これにより、他の研究者との対話、初心者の方への説明と表現など、本質を伝達できる事に自信を感じている。また、インターンシップでは、ユーザの立場で「もの造り」をする大切さを学んだ。一方、最近の国内での国際会議発表では、英会話の必要性を痛感した。今日から、挑戦を始めようと思う。

苦難と貴重な経験が多い大学院生活だが、私は有益で充実した日々を送っている。



総合学生会館 メディアパーク 凜風館(完成パース)

「総合学生会館」メディアパーク 凜風館」の新築工事

「総合学生会館 メディアパーク 凜風館」の新築工事は、昨年四月に地鎮祭を挙行し、平成十八年二月の竣工をめざして現在建築中です。

コミュニケーション広場の創出

この建物は、創立百二十周年記念事業として、コミュニケーション広場の創出を基本コンセプトに、学生が快適なキャンパスライフを謳歌し、多くの友と出合い、語り合う場を提供



工事中の総合学生会館(昨年12月撮影)

既存学生会館・購買・書籍等の店舗機能を抜本的に改善するため、この建物に移転して機能的な整備を行うことで、利用環境の充実、利便性の向上を図るものです。

この建築に先立ち、学生の声を総合学生会館建設に反映させるため、平成十五年五月に建物のイラスト・イメージ図とネーミングのコンペを実施するとともに、アンケート調査を行い、大きな反響を呼んだこととは周知のとおりです。建物の規模は、鉄筋コンクリート造一部鉄骨四階建てであり、建築面積は三千二百八十平方メートル、延床面積は一万五千方メートルです。

各階の仕様——学生サービスを充実

この建物の内訳は次のとおりです。一階部分は、ガラスクッションに囲まれたオープンスペースとなっています。ここは学生同士が自由に語りあふことができる憩いの場とし、テーブルには、パソコンが接続できるよう情報コンセントを設置するほか、各種イベントスペースとして利用される予定です。また、学生サービス



1階学生ラウンジ(イメージ図)



2階食堂(イメージ図)

スをさらに充実するため、事務室・相談室を設置し、成績証明書等の各種証明書を一括発行するなど学生生活に寄与できるものと思われま。他に、荷受室、機械室、熱源機械室、受水槽ポンプ室、トイレ、倉庫等があります。

二階部分は、食堂および厨房施設のフロアとし、現在の誠之館1号館にある生協食堂が移転して、より

楽が公演できるホールをはじめ、現在不足している和室を二室設け、茶道部、能楽部、邦楽部、書道部、落語大学等の活動の場を提供します。また、大会議室、会議室を設けて講演会、各種行事や会議が実施できるようになり、課外活動の場としても利用できます。他に、テラス、トイレ、倉庫等があります。

三階部分は、同じく誠之館1号館にある購買店、書籍店、住宅相談室、軽食店等が移転して、利用環境の整備、利便性の向上を図ります。他に、生協事務室、トイレ、倉庫等があります。

四階部分は、演劇や音楽が公演できるホールをはじめ、現在不足している和室を二室設け、茶道部、能楽部、邦楽部、書道部、落語大学等の活動の場を提供します。また、大会議室、会議室を設けて講演会、各種行事や会議が実施できるようになり、課外活動の場としても利用できます。他に、テラス、トイレ、倉庫等があります。

総学生会館と特別講堂の間には、各階に直接アプローチできる大階段が設置され、その先には、建物の屋上全面を覆う広大な庭園が広がります。桜をはじめ、

め、種々の草木を植栽してベンチを設置し、学生の憩いの場とする計画です。このことにより、緑豊かな千里山キャンパスにこれまでになかった活動のフィールドが加わることも、都市型風力発電装置を設置することも計画しており、これらを含めて環境への配慮を重視する大学の姿勢を示すものです。

なお、この建物の空調や厨房に利用する温水の熱源は、高効率のガス・コージェネレーション・システムを採用することで、環境面や省エネルギー性・ランニングコストメリットにおいて非常に有利なものとなっております。

総学生会館建設計画専門委員会委員長 池内啓三

総学生会館と特別講堂の間には、各階に直接アプローチできる大階段が設置され、その先には、建物の屋上全面を覆う広大な庭園が広がります。桜をはじめ、

め、種々の草木を植栽してベンチを設置し、学生の憩いの場とする計画です。このことにより、緑豊かな千里山キャンパスにこれまでになかった活動のフィールドが加わることも、都市型風力発電装置を設置することも計画しており、これらを含めて環境への配慮を重視する大学の姿勢を示すものです。

なお、この建物の空調や厨房に利用する温水の熱源は、高効率のガス・コージェネレーション・システムを採用することで、環境面や省エネルギー性・ランニングコストメリットにおいて非常に有利なものとなっております。

総学生会館建設計画専門委員会委員長 池内啓三

総学生会館と特別講堂の間には、各階に直接アプローチできる大階段が設置され、その先には、建物の屋上全面を覆う広大な庭園が広がります。桜をはじめ、

め、種々の草木を植栽してベンチを設置し、学生の憩いの場とする計画です。このことにより、緑豊かな千里山キャンパスにこれまでになかった活動のフィールドが加わることも、都市型風力発電装置を設置することも計画しており、これらを含めて環境への配慮を重視する大学の姿勢を示すものです。

なお、この建物の空調や厨房に利用する温水の熱源は、高効率のガス・コージェネレーション・システムを採用することで、環境面や省エネルギー性・ランニングコストメリットにおいて非常に有利なものとなっております。

総学生会館建設計画専門委員会委員長 池内啓三

建物概要

1階	ラウンジ	1,050㎡
	事務室	370㎡
	相談室	20㎡、17㎡
	荷受室(生協)・機械室他	
2階	食堂(生協)	1,610㎡
	厨房・事務室・休憩室・更衣室(生協)他	
3階	購買店・書籍店等(生協)	1,850㎡
	厨房・事務室・倉庫(生協)他	
4階	小ホール	190㎡(バックヤードを含む)
	大会議室(2室分割可能)	285㎡
	会議室	23㎡×2
	和室	32㎡、23㎡
	テラス他	

屋上には桜の園——学生に憩いの場を提供する

総学生会館と特別講堂の間には、各階に直接アプローチできる大階段が設置され、その先には、建物の屋上全面を覆う広大な庭園が広がります。桜をはじめ、種々の草木を植栽してベンチを設置し、学生の憩いの場とする計画です。このことにより、緑豊かな千里山キャンパスにこれまでになかった活動のフィールドが加わることも、都市型風力発電装置を設置することも計画しており、これらを含めて環境への配慮を重視する大学の姿勢を示すものです。

なお、この建物の空調や厨房に利用する温水の熱源は、高効率のガス・コージェネレーション・システムを採用することで、環境面や省エネルギー性・ランニングコストメリットにおいて非常に有利なものとなっております。

総学生会館建設計画専門委員会委員長 池内啓三

平成17年度 開講講座の概要

(各講座・コースの詳細は学内随所に配架している講座案内をご覧ください。)

1月11日(火) 12:10~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
英語講座 TOEIC®テスト対策コース	650点目標クラス 550点目標クラス 750点目標クラス	千里山
TOEFL®テスト対策コース	650点目標クラス 213点目標クラス 173点目標クラス	天六
情報処理講座 パソコン検定4級コース	パソコンを基礎から学び、最終日には資格をGET!	千里山
Excel パーフェクトコース	Excel・Wordのスペシャリストをめざす!	天六
マイクロソフト オフィススペシャリストコース	Excel 2002/一般 Word 2002/一般	千里山(一部天六)
システムアドミニストレータ・コース	ユーザーの立場から情報化を推進する有望資格	千里山
基本情報技術者試験対策コース	プログラム設計まで体系的に学習	千里山
宅地建物取引主任者講座	金融・不動産をはじめ、あらゆる企業で求められる資格	千里山
総合旅行業務取扱管理者講座	国内・総合コース 総合コース	天六
通関士講座	国際物流のカギを握る国家資格	千里山
ファイナンシャル・プランナー講座(AFP+2級FP技能士)	個人資産運用提案のプロをめざす!	千里山
色彩検定講座	1・2・3級対策コース 色彩の知識があなたの活躍の場を広げる	千里山
マスコミ試験対策講座	新開 ジャーナリストクラス 出版・広告クラス 放送クラス	千里山

1月12日(水) 12:10~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
公務員講座 教養対策講座	教養直前コース 直前に教養科目を総ざらい!	千里山
国Ⅱ・地方上級対策講座	主要5科目コース 国Ⅱ・地方上級合格をめざす!	千里山
技術系対策講座	土木職対策講座 土木職公務員をめざす!	千里山
国Ⅰ対策講座	(法律職) (経済職) (行政職)	千里山
基礎コースA	国家を動かす「キャリア」をめざそう!	千里山
基礎コースB	法律家へのファーストステージ	千里山
適性試験対策直前模試コース	法科大学院入試に向けてスタートダッシュ!	千里山
司法書士基礎力完成コース	ホームロイヤーをめざす!	千里山
簿記検定講座	3級対策コース 2級対策コース	千里山
簿記検定講座	ビジネスリーダーの必須能力	千里山

4月1日(金) 12:10~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
社会保険労務士講座	人事・労務管理のプロをめざす!	天六
公認会計士入門講座	早期学習で現役合格をめざす!	千里山
税理士講座	簿記論コース 財務諸表論コース	千里山
税務・会計のプロをめざす!		千里山

4月15日(金) 10:30~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
公務員講座 心理職対策講座	初級コース 国Ⅰ・地方上級の心理職、家裁調査官、法務教育をめざす!	千里山

6月21日(火) 12:10~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
英語講座 TOEIC®テスト対策コース	650点目標クラス 550点目標クラス 750点目標クラス	千里山
TOEFL®テスト対策コース	650点目標クラス 213点目標クラス 173点目標クラス	天六
情報処理講座 パソコン検定4級コース	パソコンを基礎から学び、最終日には資格をGET!	千里山
Excel パーフェクトコース	Excel・Wordのスペシャリストをめざす!	天六
マイクロソフト オフィススペシャリストコース	Excel 2002/一般 Word 2002/一般	千里山
システムアドミニストレータ・コース	ユーザーの立場から情報化を推進する有望資格	千里山
色彩検定講座	1級対策コース 色彩の知識があなたの活躍の場を広げる	天六

6月22日(水) 12:10~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
公務員講座 教養対策講座	教養夏期集中コース 早期学習で教養科目を得意にしよう!	千里山
国Ⅱ・地方上級対策講座	論文文・文章理解対策コース 論文文・文章理解を克服しよう!	千里山
フォローアップ講座	市役所レベル答練、国Ⅱ・地上答練 公務員へのはじめての第一歩	千里山
心理職対策講座	国Ⅰ・地方上級の心理職、家裁調査官、法務教育をめざす!	千里山
基礎コース「速修ゼミ」	ゼミ形式で基礎的な知識を養う!	千里山
応用演習コース	法律知識の習得から論文を書く力へ	千里山
択一答案練習コース	直前の択一式試験突破をめざす!	千里山
適性試験対策コース	適性試験で高得点をめざす!	天六
関西大学日曜答案練習会	本試験レベルの問題を解く!	千里山
簿記検定講座	3級対策コース ビジネスリーダーの必須能力	千里山

平成17年12月1日(木) 10:30~受付開始

講座・コース名	概要	開講場所
公務員講座 教養対策講座	教養要点アップ&論文文対策コース 社会科学を効果的に学習する	千里山
国Ⅱ・地方上級対策講座	専門要点アップコース2 国Ⅱ・地方上級合格をめざす!	千里山
フォローアップ講座	主要5科目演習 & 面接対策ゼミ 主要5科目コース	千里山
簿記検定講座	簿記検定講座 専門要点アップコース1の復習コース	千里山

受講申込受付場所・期間・取扱時間

キャンパス	受付場所	受付期間	取扱時間
天六キャンパス	エクステンション・リードセンター-事務室	1月11日(火)~ 随時(日祝を除く)	13:30~20:00
千里山キャンパス	エクステンション・リードセンター千里山キャンパス事務室	1月11日(火)~ 随時(日祝を除く)	10:30~19:00
高槻キャンパス	高槻キャンパス事務室	1月11日(火)~ 随時(土日祝を除く)	10:00~16:00

1月11日(火)受付開始の講座および1月12日(水)受付開始の講座は、各日の12:10から申し込みを受け付けます。

平成17年度14講座を開講

リードセンターは、今年もあなたのUPを応援します!



「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。

公務員講座 行政職
「国Ⅰ対策講座 行政職」を大阪府役所・神戸市役所・大阪府庁などの難関地方上級職をめざす人にも適した内容に改編しました。国Ⅱ・地方上級を第一志望とする人もぜひ受講してください。

また論文文・文章理解への苦手意識を解消するために教養対策講座・論文文・文章理解対策コースを新設します。

法律養成講座
適性試験対策コース
法書士基礎力完成コースを新設

適性試験対策として、四年次生を対象とする模試のコースと三年次生を対象とする模試のコースを新設します。



「お父さんはお人好し」
自筆原稿、台本、単行本

「アチャコ青春手帖」
「お父さんはお人好し」と聞いてピンとくるのは、昭和二十年代半ばから三十年代前半のラジオがお茶の間の主役だった頃を知っている人である。あるいははかりの両者は花菱アチャコ、浪花千栄子が母子、夫婦を演じて一世を風靡したラジオ番組であり、この台本を書いたのが、このたび関西大学図書館が資料の寄贈を受けた沖一(一九〇四~七六)である。寄贈資料は、自筆原稿、台本、書簡など約四百点にのぼる。

長沖一氏は、明治三十七年大阪三ツ目の島之内に生まれ、旧制の大阪府立天主中学校、大阪府立天王寺中学校、東京帝国学校を経て、東京帝国

大学文学部へ入学。その後昭和五年陸軍に入營し、この時の経験をもちに、肉体交響楽を書きあげたが、時勢のため発表されず、没後の昭和五十六年、司馬遼太郎氏によって、中央公論で初めて紹介された逸話には有名な。大阪高等学校在学中から秋田英、藤沢相夫らと同人誌を出し、大学卒業後は吉本興業のPR雑誌「ヨシト」の編集にあたり、またラジオの台本を数多く執筆した。このような作家の顔とは別に、昭和二十三年から昭和二十五年まで、女子学校教員となり、同五十年には帝塚山学院短期大学学長の職にも就いた教育者としての顔もあわせて、この間の資料も贈らる。贈らる資料は、和子夫人や長男博氏が懐かしげに回想する言葉のこそここに、敬愛と追慕の情が溢れ、お父さん、お母さん、大事に就いて兄弟で助け合った、「お父さんはお人好し」の原稿、台本、書簡など約四百点にのぼる。

長沖一氏は、明治三十七年大阪三ツ目の島之内に生まれ、旧制の大阪府立天主中学校、大阪府立天王寺中学校、東京帝国学校を経て、東京帝国

台本など図書館の大阪文藝資料に

「お父さんはお人好し」
自筆原稿、台本、単行本

「アチャコ青春手帖」
「お父さんはお人好し」と聞いてピンとくるのは、昭和二十年代半ばから三十年代前半のラジオがお茶の間の主役だった頃を知っている人である。あるいははかりの両者は花菱アチャコ、浪花千栄子が母子、夫婦を演じて一世を風靡したラジオ番組であり、この台本を書いたのが、このたび関西大学図書館が資料の寄贈を受けた沖一(一九〇四~七六)である。寄贈資料は、自筆原稿、台本、書簡など約四百点にのぼる。

長沖一氏は、明治三十七年大阪三ツ目の島之内に生まれ、旧制の大阪府立天主中学校、大阪府立天王寺中学校、東京帝国学校を経て、東京帝国

関大通信 第322号

平成17年(2005年)1月8日
大阪府吹田市山手町3 3 35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は2月1日発行の予定です

学内ボランティアグループ

“COLORS”



私たちCOLORSは、「関大生の、関大生による、関大生のための」学内ボランティアグループです。

でも、どうして「みんなの」大学のために、なのでしょう。それは、単純に私たち自身の手で大学を楽しみたいと思える場所にしていきたいということなんです。

(社会学部4年次生 グループリーダー 大知 真也)

1枚の呼びかけポスターから始まった

学内ボランティアグループ“COLORS”は、学生生活課の呼びかけのもと昨年4月に発足しました。これは昨今、社会的にもボランティアに関心をもつ学生が増えていることを受けて、まず“キャンパス内でボランティアをしてみませんか”と募集し、有志が集まったものです。

その活動は、すべて学生がアイデアを持ち寄り実現していくというもので、具体的には今度で「学生の手による花壇作り」と「図書館の本の落書き消し」、学園祭での「アルコールパッチテスト」を実施してきました。

“COLORS”とは

「いろいろな学部・学年の人たち(個性)が集まって、いろいろな活動をする」という意味から付けられたグループ名(COLORS)ののとおり、そのメンバー構成は実にさまざまです。

既にボランティア経験のある人や文化会系、あるいは体育会系クラブと掛け持ちしている人、反対にサークルなどに全く入っていなかった人など多彩な顔ぶれて、現在登録者数は40人を超えました。今後も従来からの活動に加えて、「何か、誰かの」役に立つような新しい企画を考え、実現していきたいと思っています。



活動に参加しようと思ったきっかけ

思いを即実行! 大学に入ってやってみたかったこと
私は、COLORSのことを入学して初めて見たインフォメーションシステム上で知りました。私にとってボランティア活動は、大学に入ったら実行してみたいことの1つだったので、すぐに登録に行きました。すると、メンバーがまだ5人しか集まっていないと言われ、驚きました。でも今は人数も40人を超え、それもまた驚きです。

今までの活動で一番楽しかったのは、やはり学園祭でのアルコールパッチテストです。後期に入ってメンバーが一気に打ち解け、団結力が何倍にも増したような気がします。そして私もやっとメンバーの顔と名前を覚えることができました。

学園祭の当日は、予想以上の大盛況(2日間で1000人に実施)で本当に忙しかったのですが、それ以上に楽しかったので「人のために、ボランティアでやっている」という感じは全くありませんでした。

これからもCOLORSの一員として、その名のとおり個性あふれるメンバーと多様なボランティア活動をしていきたいと思っています。

(工学部1年次生 篠原 結)

いろんな可能性があるから

僕がCOLORSの活動に参加するようになったのは、学内の花植え活動に興味を持ったのがきっかけです。単純に「花を植えてみたいなあ」と思ったのです。知っている人がいないのは不安でしたが、実際に参加してみるとそんなことはあまり気にならず、楽しくやることができました。

後期になってアルコールパッチテストを学園祭で行うことになり、活動が活発になってきました。COLORSの活動は、あくまでも自発的なものなので、日によっては参加人数が思うように集まらない時もあり、企画、準備はなかなか大変だったと思います。それでも活動を通して楽しい雰囲気も生まれて、本番の学園祭もやりとげ、充実感を味わうことができました。

COLORSという集まりは、未完成な部分があるかもしれませんが、その分、可能性が大いにあると思います。これからの活動で、また違う「色」が見えてくると思います。

(経済学部2年次生 隅田 洋)

取り組み内容(活動体験記)

花植え

「関大に花がない」と素朴に気づいたことから、7月、誠之館前にレンガ造りのものでは第1号の小さな花壇を作ることにしました。花壇作りと聞かされて、レンガ積み戸惑いを感じながらも、不器用かつ慎重に作業を進め、総勢15人ほどでラベンダー、パーペーナなどの花を植えました。自分たちが植えたと思うと、なにげなく通り過ぎていた景色も見る目が違ってくるものです。

春には春の、冬には冬の花があります。これからも色とり豊かな「季節の顔」を見せてほしいと思います。(社会学部4年次生 高倉 健五)



図書館の本の落書き消し

図書館の本を開いて、「何かこれ、落書きだらけやん」と不快な思いを経験した人はたくさんいると思います。COLORSは本の落書きを消す活動もしています。落書き消しは地道な作業で時間がかかり、ペンによる落書きなどは消せず、もどかしい思いをしたりします。

しかし、みなさんに図書館を気持ちよく利用してもらうため、メンバーみんなで頑張っています。

(大学院社会学部研究科M2 高木 優一)

アルコールパッチテスト

「アルコールパッチテスト」をご存じでしょうか。簡単に説明しましょう。エタノールを2、3滴染み込ませたパッチ絆創膏を、上腕辺りに貼り付けます。アルコールの耐性がないと貼った部分に赤みがかかるので、約10分でアルコールに対する体質を知ることができます。

テスト当日、私たちは事前に作成したクイズ形式の問答集や結果に合わせた判定カード「イエローカード」「レッドカード」などを来訪者に配りました。

学園祭では多くの方が来場し、意外な反応結果(「今までガンガン飲んでいたのに実は“飲めない体質”だった」等)に戸惑う人もありました。こういう機会でない、なかなか自分の体質を知ることができないですね。

このテストは、一気飲み防止や自分の適量を知ってもらうためにも、機会があればどんどん実施したいと思っています。テストをするのもされるのも、なかなか貴重な体験になりますよ。

(経済学部3年次生 山城 俊介)



今後の取り組み 今後の活動として、これまでの企画と並行して次のようなことを計画しています。

Table with 4 columns: 内容, 場所, 実施時期, コメント. It lists activities like flower planting, library cleaning, alcohol patch tests, and map creation.

今から何か始めてみませんか。

COLORSは、以上のような活動を行っています。少しでも関心を持った人、「こんなアイデアがある」という人、大学内でクラブ・サークルに入りそびれてしまったという人も...学生生活における取り組みの一つ、新しい人との出会いの場として、今から何か始めてみませんか。

この活動は、学生のみみなさんがどんどん意見を出し、みなさん自身で盛り立てていくものです。学生部は活動を全面的に支援しています。友人と連れ立って、あるいは一人で来訪も歓迎します。メンバー登録は随時受け付けていますので、気軽に学生生活課まで来てください。

(原 武久)
最近 あちこちの大学で運動部員の不祥事が出てきている。学生をお客様扱いして、学生に気に入られることばかりを優先されるという最近の大学の風潮も、一つの原因である。先日、私の授業で授業評価アンケート調査を行った。アンケート用紙を回収した後、余った用紙が教室中に散乱していても、誰も拾おうとはせず、私一人が拾い集めた。学生に気に入られるような授業をする事も大切であるが、それ以前に、他人に対して思いやりを持つような教育がもっと大切だと思う。
今月号では、COLORSというボランティアグループを紹介している。ここでやっているような、まず身近なことからボランティアをしようという考えが、今後広まることを大いに期待する。

編集後記
二階堂善弘(にかいどう・よしひろ)助教
専門は中国の民間信仰研究。著書に『封神演義の世界』大修館書店・中国の神さま、平凡社新書などがあ。ホームページはhttp://www.2-looku.kansai-u.ac.jp/~nika100/

